

# ス イ ス

## Swiss Confederation

	2012年	2013年	2014年
①人口：824万人（2014年末暫定）			
②面積：4万1,285km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：8万7,475米ドル （2014年推定）			
④実質GDP成長率（%）	1.1	1.9	2.0
⑤消費者物価上昇率（%）	△0.7	△0.2	0.0
⑥失業率（%）	2.9	3.2	3.2
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	23,831	23,571	29,832
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	62,031	67,983	45,335
⑨外貨準備高（100万米ドル）	475,659	495,958	505,463
⑩対外債務残高（グロス） （100万スイス・フラン）	1,437,253	1,427,169	1,516,110
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	0.9377	0.9269	0.9162

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）  
〔出所〕①②⑤：スイス連邦統計局、③⑨⑪：IMF、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦⑧⑩：スイス国立銀行

2014年のスイスの実質GDP成長率は2.0%となった。これは、前年とほぼ同水準の成長である。貿易収支は大幅な黒字となった。2013年に輸出入ともに前年比減だった日本との貿易は、輸出が増加に転じた。日本からの直接投資では、医療機器、光学機器、バイオガスプラントなどへの買収や資本参加がみられた。

### ■ 経済成長は前年をやや上回る

2014年のスイス経済は、実質GDP成長率は2.0%となり、前年の1.9%をわずかながら上回った。ユーロ圏での景気が期待ほど回復せず、経済への悪影響が懸念されていたが、民間最終消費支出が1.3%、国内総固定資本形成が1.8%伸びたことなどがプラス成長を支えた。なお、スイスのGDPを構成する各項目の数値については、2014年第2四半期から新統計システムが導入された。そのため本報告で紹介する数値は、2014年版以前に掲げた数値とは、ベースが異なることに留意する必要がある<sup>〔注〕</sup>。

失業率は前年と同じく3.2%を維持したが、雇用の先行きについてはユーロ圏経済の先行きが依然として不透明な中、スイス・フラン高でコスト競争にさらされる輸出や観光産業部門での悪化が懸念されている。

スイス国立銀行は2015年1月15日、2011年9月から実施してきた1ユーロ=1.20スイス・フラン（以下、CHF）を上限とする無制限介入策の即時中止を決定した。

表1 スイスの需要項目別実質GDP成長率

（単位：%）

	2013年	2014年	2014年			
			Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率	1.9	2.0	2.5	1.7	1.9	1.9
民間最終消費支出	2.2	1.3	1.3	1.1	1.6	1.2
政府最終消費支出	1.4	1.4	1.5	1.5	0.8	1.8
国内総固定資本形成	1.8	1.8	1.9	1.6	2.5	1.3
財貨・サービスの輸出	15.4	△7.2	6.8	△23.7	△9.5	1.8
財貨・サービスの輸入	13.6	△9.3	1.4	△21.6	△12.8	△2.3

〔注〕①四半期の伸び率は前年同期比。

②2014年第2四半期から、新統計システムが導入された。

〔出所〕スイス連邦経済省経済事務局

連邦経済省経済事務局（SECO）は、2015年3月、四半期ごとに実施する景気予測で、2015年の実質GDP成長率について上限撤廃前に発表した2.1%を大幅に下方修正し、0.9%とした。6月の発表では、0.8%とした。

### ■ 貿易収支は大幅黒字を記録

2014年は、輸出（通関ベース）が前年比3.6%増の2,083億7,000万CHF、輸入は0.5%増の1,785億3,800万CHFだった。輸出額は5年連続で輸入を上回り、貿易黒字も5年連続で拡大基調にある。2014年の黒字額は298億3,200万CHFだった。

輸出を品目別にみると、最大品目の化学品（構成比40.9%）が5.4%増となった。同品目全体の8割を占める医薬品（34.0%）が6.4%増だったことによる。医薬品の最大輸出先の米国向けが14.4%増、ドイツ向け、英国向けがそれぞれ6.1%増、23.1%増だった。医薬品同様、スイス・フラン高に左右されないスイス製品の強さが分かるのが、精密機械・時計・装身具（22.6%）の輸出で、3.9%増となった。時計（10.7%）は1.9%増。腕時計の輸出は2,858万個と過去最高となった。スイス時計協会FHによれば、輸出価格3,000CHFを超える高級時計が輸出額の増加に最も寄与しているという。最大の輸出先である香港へは、前年比0.1%減と横ばいだった。3位の中国向けも景気の減速と、汚職防止のため政府が打ち出した党・政府幹部や公務員に対する「儉約令」の影響などで3.1%減と3年連続で減少したが、2位の米国向けが6.1%増、4位の日本向けが15.2%増となった。機械および電

表2 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2013年		2014年		2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品	80,934	85,323	40.9	5.4	41,849	42,945	24.1	2.6
医薬品	66,552	70,785	34.0	6.4	29,406	30,543	17.1	3.9
精密機械・時計・装身具	45,315	47,076	22.6	3.9	19,149	20,004	11.2	4.5
時計	21,834	22,258	10.7	1.9	3,482	3,752	2.1	7.8
精密機械	14,645	14,686	7.0	0.3	7,031	7,275	4.1	3.5
機械および電気・電子機器	33,305	33,346	16.0	0.1	30,237	30,347	17.0	0.4
産業用機械	19,700	20,165	9.7	2.4	11,878	12,010	6.7	1.1
電気・電子機器	11,378	10,882	5.2	△4.4	10,800	10,829	6.1	0.3
金属製品	12,082	12,481	6.0	3.3	14,119	14,395	8.1	2.0
農・林・水産業製品	9,201	9,415	4.5	2.3	14,055	14,062	7.9	0.0
食品・飲料・たばこ	8,211	8,391	4.0	2.2	10,116	10,233	5.7	1.2
輸送用機器	5,252	5,690	2.7	8.3	15,854	16,151	9.0	1.9
燃料・エネルギー	3,345	3,143	1.5	△6.0	14,342	11,991	6.7	△16.4
電力	2,384	2,268	1.1	△4.8	2,058	1,830	1.0	△11.0
原油・石油製品	918	843	0.4	△8.1	10,510	8,757	4.9	△16.7
合計 (その他含む)	201,213	208,370	100.0	3.6	177,642	178,538	100.0	0.5

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの) 含まず。  
[出所] スイス連邦関税局

表3 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2013年		2014年		2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	110,466	114,044	54.7	3.2	131,934	130,611	73.2	△1.0
ユーロ圏	93,418	95,521	45.8	2.3	117,864	116,060	65.0	△1.5
ドイツ	37,568	38,608	18.5	2.8	51,733	51,283	28.7	△0.9
フランス	14,166	14,987	7.2	5.8	14,745	14,407	8.1	△2.3
イタリア	14,507	13,762	6.6	△5.1	18,222	17,626	9.9	△3.3
非ユーロ圏	17,048	18,524	8.9	8.7	14,070	14,551	8.2	3.4
英国	8,904	10,050	4.8	12.9	6,155	6,414	3.6	4.2
アジア・大洋州	36,411	37,104	17.8	1.9	23,103	24,665	13.8	6.8
中国	8,206	8,822	4.2	7.5	11,387	12,148	6.8	6.7
香港	6,696	6,979	3.3	4.2	1,422	1,775	1.0	24.8
ASEAN	6,704	6,591	3.2	△1.7	3,696	4,297	2.4	16.2
日本	6,062	6,191	3.0	2.1	3,285	3,190	1.8	△2.9
韓国	2,527	2,660	1.3	5.3	651	619	0.3	△5.0
インド	2,003	1,723	0.8	△14.0	1,356	1,402	0.8	3.3
米国	23,290	25,878	12.4	11.1	9,832	10,910	6.1	11.0
ロシア	3,117	2,786	1.3	△10.6	529	586	0.3	10.9
ブラジル	2,224	2,088	1.0	△6.1	843	875	0.5	3.8
合計 (その他含む)	201,213	208,370	100.0	3.6	177,642	178,538	100.0	0.5

[注] ① 貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの) 含まず。  
② アジア・大洋州は ASEAN + 6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港および台湾を加えた合計値。  
[出所] スイス連邦関税局

気・電子機器 (16.0%) は0.1%増と停滞した。金属製品 (6.0%) は3.3%増だった。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先のEU28 (構成比54.7%) は3.2%増となった。EU域内ではドイツ (18.5%)、フランス (7.2%)、イタリア (6.6%) が上位を占めている。前年、電力の輸出統計変更の影響と機械および電気・電子機器の輸出不振からいずれも低迷していたが、2014年はドイツ向けが2.8%増、フランス向けも5.8%増と回復した。しかし、イタリア向けは医薬品、電

力、繊維、時計部品などが不振で5.1%減となった。国別ではドイツに次ぐ2位の米国向け (12.4%) は医薬品や時計の輸出増などにより11.1%増と好調だった。中国向け (4.2%) は、7.5%増となった。時計が3.1%減だが、全体の約3割を占める医薬品が23.2%増と2桁台の伸びを示した。スイスと中国の自由貿易協定が2014年7月1日に発効し、今後も対中輸出拡大が期待されている。

輸入を品目別にみると、最大の化学品 (構成比24.1%) が2.6%増で、2位の機械および電気・電子機器 (17.0%) が0.4%増、3位の精密機械・時計・装身具 (11.2%) は4.5%増となった。スイス自動車輸入協会によると、2014年の新車 (乗用車) 登録台数は前年比1.9%減の30万1,942台だった。近年の自動車販売低迷には若年層の車離れも指摘される。また、原油価格の大幅な下落を受け、電力、原油・石油製品など燃料・エネルギー (6.7%) が16.4%減、特に、原油・石油製品 (4.9%) は16.7%減と大幅減となった。

輸入を国・地域別にみると、最大のEU28 (構成比73.2%) は、1.0%減だった。ドイツ (28.7%)、イタリア (9.9%)、フランス (8.1%) が上位を占めるが、それぞれ0.9%減、3.3%減、2.3%減と減少した。一方、国別では

4位の中国 (6.8%) からは電気・電子機器が11.5%増、繊維が5.9%増で、全体で6.7%増だった。5位の米国 (6.1%) からの輸入は、同国からの輸入全体の35.1%を占める医薬品が14.2%増と大幅増となり、11.0%増となった。

### ■ 対外投資先はユーロ圏以外が中心

スイス国立銀行によれば、2014年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) は200億7,700万CHF、対外直接投資 (同) は153億8,900万CHFだった。スイス

表4 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

(単位：%)

	FTA (協定発効年)	スイスの貿易に占める 構成比 (2014年)		
		往復	輸出	輸入
発効済み	EU28 (1973年)	63.2	54.7	73.2
	中国 (2014年)	5.4	4.2	6.8
	日本 (2009年)	2.4	3.0	1.8
	香港 (2012年)	2.3	3.3	1.0
	湾岸協力会議 (GCC) 諸国 (2014年)	2.0	3.3	0.5
	シンガポール (2003年)	1.1	1.5	0.7
	カナダ (2009年)	1.0	1.6	0.4
	トルコ (1992年)	0.9	0.9	0.7
	韓国 (2006年)	0.8	1.3	0.3
	メキシコ (2001年)	0.8	0.8	0.7
	EFTA (1960年)	0.3	0.5	0.2
	合計	80.2	75.1	86.3
交渉中	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	1.2	1.5	0.8
	インド	0.8	0.8	0.8
	タイ	0.5	0.5	0.5
	マレーシア	0.4	0.4	0.3
	ベトナム	0.4	0.2	0.5
	インドネシア	0.2	0.3	0.2
	アルジェリア	0.2	0.2	0.1
	フィリピン	0.1	0.2	0.1
	合計	3.8	4.1	3.3
	FTAカバー率 (交渉中含む)	84.0	79.2	89.6

[注] ①EFTA：ノルウェー、アイスランドのみ計上 (リヒテンシュタイン含まず)。

②以下20カ国・地域ともFTA発効済み。イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ、モロッコ、マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟 (SACU：ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、スワジランド)、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米2カ国 (パナマ、コスタリカ)、ボスニア・ヘルツェゴビナ (協定締結順)。表には当該国の数値も含む。

③構成比について、輸出はスイス原産品 (再輸出品除く)、輸入は輸入総額を使用。

[出所] スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覧」、スイス連邦関税局貿易統計

は、租税回避のプラットフォームとして外国企業や富裕層を誘致していたが、近年では、預金者情報の交換などの条項を組み込んだ二国間租税条約改正を進めている。その結果、銀行や保険などの投資引き揚げが続いたが、2014年には利益の再投資なども行われ、対内投資は増加した。対外投資では、スイス・フラン高を背景に、スイス企業による外国企業買収が相次いだ。分野別では、医薬品関連、資源・エネルギー分野で増加がみられた。投資先では、北米地域や欧州では英国などユーロ圏以外での買収が多くみられた。

対内投資案件をみると、ノバルティスの各部門への投資が目立った。米国イーライリリー、英国のグラクソ・スミスクライン、スペインのグリフォルスによる買収があった。その他医療・医薬品関連では、米国のダナハーによる歯科インプラント専門ノーベルバイオケアの買収、米国薬局チェーンのウォルグリーンによるアライアンス・ブーツの買収などもあった。その他の産業では、米

表5 スイスの国・地域別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2012年	2013年	2012年	2013年
	金額	金額	金額	金額
EU28	23,196	8,064	10,396	12,065
オランダ	11,424	11,359	△17,459	2,424
ルクセンブルク	△21,961	8,740	4,132	△10,355
英国	1,907	5,520	28,153	3,133
ドイツ	364	△795	△3,761	645
フランス	2,890	△1,054	△4,729	2,641
オーストリア	△2,342	△2,288	527	410
アイルランド	n.a.	n.a.	948	1,393
ロシア	n.a.	n.a.	983	442
米国	7,748	7,736	10,170	△3,191
中南米 (オフショア地域含む)	218	△3,399	13,743	5,743
ブラジル	n.a.	n.a.	1,731	1,078
アジア	n.a.	n.a.	841	736
日本	416	△233	524	28
シンガポール	n.a.	n.a.	△298	1,397
中国	n.a.	n.a.	1,546	1,922
インド	n.a.	n.a.	770	455
合計 (その他含む)	14,993	610	40,622	31,508

[注] 2014年の国・地域別内訳は2015年12月に発表予定。

[出所] スイス国立銀行

表6 スイスの業種別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2012年	2013年	2012年	2013年
	金額	金額	金額	金額
製造業	4,543	6,922	18,363	11,244
電子・光学・時計等	3,240	3,370	3,108	5,346
金属・機械	909	376	3,453	1,656
化学・プラスチック	351	3,100	9,386	3,073
その他産業・建設	44	77	4,201	200
繊維・アパレル	n.a.	n.a.	△1,785	970
サービス	10,449	△6,312	22,259	20,264
商業	14,248	1,045	3,299	1,960
運輸・情報	6,226	△5	1,020	1,019
保険	△56	353	4,584	4,691
銀行	△782	△3,150	5,187	13,320
その他サービス	△1,377	314	1,579	448
金融持ち株会社	△7,810	△4,869	6,591	△1,174
合計 (その他含む)	14,993	610	40,622	31,508

[注] 2014年の業種別内訳は2015年12月に発表予定。

[出所] スイス国立銀行

国の大手穀物商社アーチャー・ダニエルズ・ミッドランドによる飲料・食品香料のワイルド・フレーバーの買収があった。また香港の投資会社チャイナ・ハイディアン (中国海淀集団) が、スイスの時計メーカー、ドレイファス・グループの自社株100%を取得。チャイナ・ハイディアンはすでに、コルム、エテルナなどの時計ブランドを買収している。

対外投資案件をみると、医薬品のロシュがバイオ医薬品のインターミューン、乳がん治療薬開発のセラゴンファーマシューティカルズなど、米国で数社の買収を行った。食品関連では、パン製造のアリスタが米国のク

表7 スイスの主要対内直接投資案件（2014年1月～2015年1月）

被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
動物ヘルス	ノバルティスアニマルヘルス	イーライリリー（医薬品）	米国	2015年1月	54億ドル	イーライリリーが動物医薬品部門エランコを通じてノバルティスの動物ヘルス部門を買収。
医薬品	ノバルティス（グローバル・ワクチン事業）	グラクソ・スミスクライン（医薬品）	英国	2014年4月	52億5,000万ドル	グローバル・ワクチン事業を買収。同買収は、ノバルティスとの間で行われた3事業（コンシューマーヘルスケア、ワクチン、がん関連）の相互条件付き取引の一環。
歯科インプラント	ノーベルバイオケア	ダナハーコーポレーション（医療機器）	米国	2014年9月	22億ドル	ノーベルバイオケアの株式公開買い付け（TOB）。98%以上の株を取得。
医薬品	ノバルティス（輸血検査部門）	グリフォルス（医薬品）	スペイン	2014年1月	16億7,500万ドル	ノバルティスの輸血検査部門を買収。
金融	BSI	BTGパクチュアル（投資会社）	ブラジル	2014年7月	15億CHF	スイスをベースに業務を展開するプライベートバンキングBSI（親会社：保険会社ジェネラリ）の資本100%買収。
時計	ドレイファス・グループ	チャイナ・ハイディアン（中国海淀集団、投資会社）	中国（香港）	2014年4月	4,080万CHF	ロータリー、ドレイファス&コー、J&Tウィンドミルズなどのブランドを有する老舗メーカーを買収。
医薬品販売	アライアンス・ブーツ	ウォルグリーン（医薬品販売）	米国	2014年12月	n.a.	米国薬局チェーンの最大手が大手ドラッグストアチェーンを買収。
ITセキュリティ	インフォトラスト	NTTコムセキュリティ（ITセキュリティ）	日本	2014年11月	n.a.	スイスのセキュリティソリューション事業会社の株式を100%買収。NTTコムセキュリティは、NTTコミュニケーションズ傘下。
医療機器	リギ メディティンク テクニク	ニプロ（医療機器）	日本	2014年8月	n.a.	スイスの提携販売先リギ メディティンク テクニクの株式51%を取得。
バイオガス	アクスポ・コンボガス・エンジニアリング	日立造船イノバ（発電プラント）	日本	2014年10月	n.a.	日立造船イノバが電力会社アクスポ傘下のアクスポ・コンボガス・エンジニアリングを買収。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表8 スイスの主要対外直接投資案件（2014年）

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
ロシュ（製薬）	医薬品	インターミューン	米国	9月	83億ドル	米バイオ医薬品インターミューンへのTOB完了。ロシュにとっては、最大規模の買収で、呼吸器分野の多様化と強化を目的とする。
TEコネクティビティ（産業・技術）	産業・技術	メジャメント・スベジャリティーズ	米国	10月	17億ドル	TEは自動車や航空業界向けのセンサー等を製造。今後の世界センサー市場規模の拡大を予想しての買収。
リンツ&シュプルングリー（食品（菓子））	食品（菓子）	ラッセルストーパー・キャンディーズ	米国	9月	10億CHF	リンツの戦略的買収で、北米市場固めの足がかりとなる。
パートナーズ・グループ（投資会社）	資源（天然ガス）	フェルマカ	メキシコ	2月	7億5,000万ドル	メキシコの天然ガス開発インフラオペレーターであるフェルマカの資本過半数を取得。
アリスト（食品（パン））	食品（パン）	クローバーヒル・ベーカリー、バインリッジ・ベーカリー	米国、カナダ	3月	7億3,000万ユーロ	パン製造アリストの北米市場強化のための買収。2社の買収額の総額は7億3,000万ユーロ。
ロシュ（製薬）	医薬品	セラゴンファーマシューティカルズ	米国	7月	7億2,500万ドル	バイオテクノロジー企業で、乳がん治療薬の研究を行っているセラゴンファーマシューティカルズを買収。
スイス・ライフ（保険）	アセットマネジメント	コーパス・シレオ	ドイツ	8月	2億1,000万ユーロ	ドイツにおける不動産アセットマネジメント市場のリーダー的存在のコーパス・シレオを買収。
SGS（検査・認証）	検査・認証	アールエフ・テクノロジー	日本	4月	n.a.	検査・認証のSGSは日本の同業企業アールエフ・テクノロジーを完全子会社化。
シーカ（化学建設材）	建設資材	ダイフレックス	日本	1月	n.a.	資本の過半数を所有していたダイフレックスの残り株24.5%を買収し100%とした。ダイフレックスは建設用の液状防水剤を開発。

<その他>

業種	企業名	投資国	時期	投資額	概要
小売り	Mインダストリー	日本	11月	n.a.	小売り大手ミグロの食品部門Mインダストリーの日本進出。資本金7,400万円。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表9 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万CHF、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2013年		2014年			2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	2,637	2,509	40.5	△4.9	乗用車	579	591	18.5	2.0
腕時計	1,089	1,265	20.4	16.1	宝飾品	471	485	15.2	3.0
医療機器	350	410	6.6	17.2	医薬品	540	458	14.4	△15.1
宝飾品	302	351	5.7	16.4	一般機械	315	293	9.2	△6.9
一般機械	363	328	5.3	△9.8	電気・電子機器	176	193	6.0	9.5
たばこ	156	204	3.3	30.8	化学原材料	157	186	5.8	18.5
化学原材料	154	132	2.1	△13.9	建設機械	69	78	2.4	12.0
電気・電子機器	109	124	2.0	13.8	光学機器	92	74	2.3	△20.0
検査・計測機器	122	108	1.7	△11.5	医療機器	73	65	2.0	△11.1
飲料	71	84	1.4	19.2	自動車部品	56	59	1.8	4.5
合計(その他含む)	6,062	6,191	100.0	2.1	合計(その他含む)	3,285	3,190	100.0	△2.9

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品（加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの）含まず。  
 [出所] スイス連邦関税局データ（2015年4月）から作成

ローバー・ヒル・ベーカーとカナダのパインリッジ・ベーカーを買収、北米で成長するスナック市場への参入が狙いだ。チョコレート製造のリンツ&シュプルングリーは米国の製菓大手ラッセルストーバー・キャンディーズを買収、リンツ&シュプルングリーは、ハーシー、マーズに次ぐ北米3位のチョコレートメーカーとなった。他方、原油取引のマーキュリアエナジーグループが米国金融大手JPモルガン・チェースの金属を中心とした商品部門を買収、ヘッジファンド運用のパートナーズ・グループがメキシコの天然ガスインフラ事業を行うフェルマカの資本過半数を取得、グレンコア・エクストラクタがアフリカで油田事業を行うカナダのカラカルエナジーを買収するなど、資源・エネルギー分野での動きもあった。

### ■対日貿易は輸出増、輸入減で黒字幅が拡大

2014年の対日貿易は、輸出が前年比2.1%増の61億9,100万CHF、輸入が2.9%減の31億9,000万CHFで、輸出11.6%減、輸入が14.2%減と、輸出入とも大きく縮小した前年に対し、輸出はやや持ち直した。対日貿易黒字は、30億100万CHFとなり、黒字額は前年より2億2,300万CHF増加した。

対日輸出全体の40%以上を占める最大品目の医薬品は4.9%減だった。2位の腕時計は16.1%増と好調で、対日輸出全体に占める割合も前年の18.0%から20.4%に拡大した。そのほか、医療機器は17.2%増、宝飾品は16.4%増と拡大したが、価格競争が激しい一般機械、化学原材料、検査・計測機器はそれぞれ9.8%減、13.9%減、11.5%

減と、大幅減となった。一方、たばこや飲料（アイスコーヒー、アイスティー、乳酸菌飲料など清涼飲料水が中心）の輸出がそれぞれ30.8%増、19.2%増と拡大した。

対日輸入全体の18.5%を占める乗用車は2.0%増加した。医薬品、一般機械、光学機器は、それぞれ15.1%減、6.9%減、20.0%減と前年に引き続き減少した。

日本企業による対スイス直接投資の案件としては、2014年8月に、ニプロが透析機器を中心とした医療機器販売のリギ メディティンテックの株式の過半数を取得した。2014年10月には、日立造船のスイス子会社でごみ焼却発電プラントの設計・建設・保守などを手がける日立造船イノバがバイオガスプラント建設事業を行うアクスポ・コンポガス・エンジニアリングを買収した。

スイス企業の日本への直接投資は、化学建設材のシーカが、既に資本の過半数を保有していたダイフレックスの残り株を買収し、資本100%保有とした。また、世界各地で検査・認証分野の買収戦略を実施しているSGSは、電気関連安全検査を行うアールエフ・テクノロジーを買収した。エネルギー関連では、エクイス・ファンド・グループとパートナーズ・グループが日本における太陽エネルギー発電所設置のため2億5000万ドル相当の投資を行うと発表した。日本側は、ジャパンソーラーと日本再生可能エネルギー（NRE）が参画する。流通分野では、小売り大手のミグロの食品部門Mインダストリーが2014年11月、日本に進出した。

(注) EUの統計システム「ESA2010」との調和をはかるために導入された新統計システムの主な変更点は次の2点。

- 1) 研究開発 (R&D) 支出および軍需支出を「投資」に含める。
- 2) 輸出入統計では、所有者の移転の有無を基準として輸出か輸入か判断する。新統計では、例えばスイス製の時計を修理のためにドイツに送った場合には、商品輸出ではなく、ドイツからのサービスの輸入となる。